

西合志東小学校便り



校訓【元気いっぱい 温もりのある 誇れる 西合志東小】第9号

令和5年6月22日 文責：有内 弘

小中一貫教育の推進をはじめ、主体的に学び進める学校

【学校教育目標】

「主体性と協働性を育み、夢の実現に挑戦する児童の育成」 ～可能性を力に～

合志市は全小中学校あげて小中一貫教育を進めています。その土台となるのは「志合せて夢実現プロジェクト」です。このプロジェクトは、それぞれの立場で誰もができること（あいさつ等）の価値に気づき継続的に実践することで、一人一人の子どもたち、そして私たちみんなの夢を実現し、幸福で明るい笑顔あふれる合志市の未来を創造することを目的としています。ここで示されている「夢」は職業や地位といったことだけでなく、幅広く「これから先の自分の有り様」とされています。そこで大切になってくるのが、「出会い」「あこがれ」「継続し習慣化すること」などです。

夢実現プロジェクトには5つのプロジェクトがあります。

- 子どもたちによるマイプロジェクト
- 家庭生活におけるホームプロジェクト
- 学校におけるスクールプロジェクト
- 地域におけるコミュニティプロジェクト
- 市行政における koshicity プロジェクト

これらの実践内容を十分に取り入れながら、未来を拓く子どもたちのよりよい成長を願って、小中一貫教育を進めていきます。

◆めざす子どもたちの学校での様子◆

【元気いっぱい】



授業の様子を見ていただいた後子どもたちの地域での過ごし方等について活発に意見交換をしました。地域の方も元気いっぱいです。

六月二十日に西合志東小の民生児童委員の方に学校訪問をしていただきました。

【温もりのある】

～6月は人権月間取り組みの月です～

【目的】

お互いのことを知り合い、互いを認め合い、共につながる反差別の集団をつくる。

【具体的な取組】

- ①学級での日常的な取組（帰りの会等）
- ②人権学習（市の共通教材による授業）
- ③学年集会
- ④人権スローガンの作成（学年や学級）
- ⑤なかまづくり委員会の活動
- ⑥取組状況のお知らせ等

正しく知ろうとする力を身に付けること、お互い（友だち）を知ること、そして共につながり合うことを大事にしながら、東小の人権教育を進めています。人を思い、自分も人も大切にする子どもたちになってほしいと思います。

【誇れる十夢の実現】



六月二十日、児童集会が行われ、十三の委員会から一年間の取組の紹介がありました。

【書籍の紹介】ちょっと読んでみませんか！

題名 「ぼく モグラ キツネ 馬」
会話のことばがまるごと心に響いてきます。いままでにあなたが（言）ったなかで、いちばんゆうかんなことばは？
★絵本感覚で読むことができます。ぜひ！
著者 チャーリー・マクギー 発行所 飛鳥新社
川村元気 訳